



おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 平成30年度大田区学習効果測定結果
- 2面 中学生海外派遣、外国語教育指導員
- 3面 喫煙防止教育開講、家庭教育コラム
- 4面 就学通知書の発行、表彰

はねびよん©大田区

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

平成30年度 大田区 学習効果測定 結果

中学校3年生数学の 達成率が64.5%に！

学力向上アクションプランの目標値 上回る

大田区では、児童・生徒一人一人の基礎的・基本的な学習内容を把握するため、区立学校の通常の学級に通う小学校4年生から中学校3年生を対象に、大田区学習効果測定を平成20年度から毎年実施しています。



学年		国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校 第4学年	目標値(期待正答率)	68.0%	70.6%	67.2%	70.1%	
	本区平均正答率	71.4%	75.0%	75.6%	70.6%	
	達成率	70.7%	76.7%	80.3%	67.6%	
小学校 第5学年	目標値(期待正答率)	68.4%	63.4%	63.9%	66.2%	
	本区平均正答率	75.0%	68.4%	72.4%	65.8%	
	達成率	77.4%	74.5%	75.5%	63.0%	
小学校 第6学年	目標値(期待正答率)	68.1%	66.4%	63.3%	69.5%	
	本区平均正答率	74.4%	68.1%	69.6%	71.6%	
	達成率	77.3%	67.3%	73.1%	69.0%	
中学校 第1学年	目標値(期待正答率)	66.2%	61.2%	67.5%	62.6%	
	本区平均正答率	69.3%	60.9%	70.0%	61.5%	
	達成率	71.4%	59.9%	69.7%	62.7%	
中学校 第2学年	目標値(期待正答率)	69.4%	52.3%	58.2%	56.0%	56.6%
	本区平均正答率	73.5%	55.2%	63.3%	56.5%	63.3%
	達成率	74.0%	64.3%	67.1%	60.0%	67.2%
中学校 第3学年	目標値(期待正答率)	65.8%	56.8%	56.4%	54.3%	58.1%
	本区平均正答率	70.9%	57.0%	59.2%	54.5%	64.4%
	達成率	72.3%	58.4%	64.5%	58.1%	67.4%

左表は、平成30年度4月に実施した学習効果測定の学年別、教科別の目標値(期待正答率)と本区の平均正答率及び達成率(目標値を上回った児童・生徒の割合)を示しています。

小学校では、第5学年理科、中学校では、第1学年の社会と理科を除いて、目標値を上回っています。また、教科や学年によってばらつきはあるものの、平均すると小学校では、70%程度の児童が、中学校では、65%程度の生徒が目標値を上回っています。

おおた教育振興プラン2014の「学力向上アクションプラン」の成果指標となっている中学校3年生数学の達成率は、平成30年度目標が62.0%であるのに対し、今年度、結果が64.5%と目標を達成することができました。各学校で、習熟度別学習の充実を推進するとともに、区費の講師や補習教室における学習指導講師等を効果的に活用した成果であると考えています。

課題となっていた中学校の理科は、中学校入学後の学習内容が出題される第2・第3学年の両学年とも平均正答率が目標値を上回りました。昨年度より実施している中学校理科教育指導員による理科教員への授業支援及び指導・助言を受け、各中学校で授業改善を推進した成果であると考えています。

学力向上に向けて



授業改善 セミナー

大田区教育委員会では、大田区学習効果測定の結果を受けて、小・中学校教員を対象とした、授業改善セミナーを平成19年12月から年に複数回開催しています。夏季休業中の平成30年8月2日(木)には、25回目、8月20日(月)～22日(水)には、26回目となる授業改善セミナーを開催しました。

本セミナーでは、児童・生徒の学力向上に資することを目的として、授業改善リーダーという教科の専門性を有する教員による模擬授業等を通じた授業改善のポイントの解説、校長等による講義、若手教員による模擬授業を主任教諭が指導する演習、他校の参加者との授業改善策に関する協議等を行いました。

各学校は、それぞれの課題を踏まえた上で、授業改善セミナーで得た情報や改善策を生かして、授業改善推進プランを作成・公開し、課題解決に向けた授業改善を行うとともに、児童・生徒一人一人の学習カルテを作成し、個に応じた学習カウンセリングを行うなど、学力向上に向けた取組を推進しております。大田区教育委員会では、今後とも、児童・生徒の実態を踏まえた学力向上に向けた取組を充実させてまいります。

【問合せ先】 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

世界と交流!

大田区立中学校生徒海外派遣



昭和49年から始まった大田区立中学校生徒海外派遣は、今年で第34回を迎えました。本事業は、海外での生活体験をとおして、外国の生活や文化の理解を深めるとともに外国語の習熟を図り、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな生徒を育成することを目的に実施しています。

7月21日(土)～8月1日(水)、大田区立中学校第2学年の生徒56名(各中学校男女1名ずつ)が、本区の姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市とドイツ連邦共和国ブレーメン市を訪問しました。

Aコース セーラムへ

Aコースは、出発便が欠航となり、2日間を日本で過ごした後、23日(月)にボストンに向けて出発しました。現地では、大田セーラム会の多大なる協力と支援を賜り、セーラム市の御家庭でホームステイを体験することができました。



現地では、マサチューセッツ州議会議事堂やボストン日本国総領事館の訪問、セーラム市のドリスコル市長との会食、魔女博物館やピーボディ・エセックス博物館等を見学しました。ピーボディ・エセックス博物館では、フェアウェルパーティ後にホストファミリーの方と生徒たちと一緒に大田区の「すっきり音頭」を踊り、楽しいひとときとなりました。ハーバード大学自然史博物館では、ウーラコット教授が日本の海洋生物テングザメ等についての講義をしてくださいました。セーラム市の歴史や伝統文化に触れ、多くのことを学びました。また、本年度は、新たにボストン東スクールを訪問し、障がいがある方々との交流を深めることができました。

Bコース ブレーメンへ

Bコースは、21日(土)に羽田空港から飛び立ち、ミュンヘンに到着しました。生徒たちは、ミュンヘン市にあるニュンヘンブルク城などのドイツの歴史的建造物や美しい町並みに見入っていました。その後、ブレーメン市に移動して、ブレーメン市の御家庭でホームステイを体験しました。



現地では、ブレーメン市庁舎やハンブルク日本総領事館を訪問したり、ブレーメン大学の見学をしたりしました。大田区同様にものづくりが盛んなドイツ、ブレーメン市にある、障がいのある方が働くマーティンスホープでは、働いている方と交流しながら、班ごとに分かれて木工製品などを作る体験をし、自動車部品を組み立てる作業を教えてくださいました。その他にも、パン作りを体験したり、ブレーマーハーフェンで移民博物館や極地海洋研究所を見学したりするなど、ドイツと日本の違いを学び、有意義な日々を過ごしました。

～生徒の感想から～

- ホストファミリーと過ごした日々、同じ海外派遣生としてチームワークを高め合い、観光親善大使として様々な場所を訪問した日々は、私にとって一生忘れられないかけがえのない思い出です。もう一つの故郷として、セーラムは私の記憶の中に生き続けたいと思います。
- 私がこの海外派遣を通して感じたことは、「伝えようと努力すること」の大切さです。ホストファミリーと過ごす中で、上手く言葉が通じなかったり、相手の言っていることが聞き取れなかったりすることが多くありました。しかし、ジェスチャーや表情など自分のできる最大限のことをして、家族になることができました。
- ボストン東スクールでは、生徒の方の明るい笑顔がとても印象に残っています。生徒に得意分野が何かを見つけてあげて、それを伸ばすという教育方法をしていると聞き、素晴らしいと思いました。また、私は個人研究で障がい者に対する支援を調べていたので様々な工夫を知ることができ、とても勉強になりました。

～生徒の感想から～

- このドイツへの海外派遣は、私の心にコミュニケーションの大切さを教えてくれました。言語の壁にぶつかったとしても、自分の知っている言葉を並べたり、ジェスチャーを使ったりし、とにかく伝えようとするのが重要だと学びました。これからも、たくさんの外国語を学び、たくさんの国の人とコミュニケーションをとりたいと思いました。
- ドイツは一人一人エコの意識が高く協力的だと思いました。しかし、1つの国だけでは地球温暖化は改善されないと思います。私たちもエコについてよく考え、意識して行動することが大切だと感じました。意識して行動に移す人が増えれば少しずつ問題は良くなっていくと思います。今回、学んできたことをこれからの生活に取り入れ、皆にも伝えていきたいです。
- ドイツには、困っている人を助けてあげられる、優しくて素敵な人が多いと感じました。私は、これからも困っている人を見かけたら日本人、外国人を問わず、自分から声をかけ、助けてあげられるような人になりたいです。私の夢は、国際線のキャビンアテンダントになることです。これからも英語とドイツ語をたくさん勉強して夢につなげていきたいです。

外国語教育指導員

どんなことをしているの? そんな疑問に答えます!



小学校学習指導要領が平成32(2020)年度より全面实施されるに伴い、各教科等の種類や授業時数等を規定している学校教育法施行規則が改正され、小学校では第3・4学年で「外国語活動」、第5・6学年で「外国語科」が新設されます。

外国語活動の授業

大田区立小学校では、今年度、第1・2学年で8時間、第3・4学年で35時間、第5・6学年で50時間の英語の授業を行っています。「外国語活動」の授業では、担当する先生と外国に籍を置く外国語教育指導員と一緒に英語を教えています。本年度から第1・2学年は8時間、3・4年生は25時間、5・6年生は40時間の外国語教育指導員が配置されています。例えば、第1・2学年は、「英語に触れる」ことをテーマとして、挨拶、歌、ゲーム、自分のことを互いに伝える等の活動を行っています。ネイティブ・スピーカーによる発音や様々な外国語教育指導員の出身国の文化を学び、異文化理解を深めています。



英語カフェ

授業以外でも、休み時間や給食の時間に、外国語教育指導員の先生と一緒に遊んだり給食を食べたりする「英語カフェ」も行っていきます。子どもたちは、授業で学んだことを生活の中で活用して、英語に親しんでいます。

日本の玄関、羽田空港がある大田区は、平成29年3月に国際都市おおたの宣言をしました。東京オリンピック2020大会に向けて、より一層、国際理解教育に力を入れ、世界に通用する人材を育ててまいります。

なお、10月19日(金)午後1時から、洗足池小学校において平成26年度から継続している英語教育の研究成果を発表します。文部科学省の直山木綿子先生のご講演もごぞいます。たくさんのご来場をお待ちしております。

喫煙防止 教育開講



大田区学校保健会は、がん教育の一環として「大田区の子どもたちが、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつことで、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理すること」をめざし、今年度、区立小学校10校の6年生を対象に「喫煙防止教育」を実施することとしました。講師は、子どもたちにとって「身近なお医者さん」である学校医、学校歯科医の先生方です。このようながん教育は、全国的にも珍しい取り組みです。

○大田区学校保健会

昭和40年設立。学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校長、養護教諭、栄養士で組織。学校保健の向上を目的に各種健診結果の分析や会報の発行、研修会などを開催。

○がん教育

第3期がん対策推進基本計画は、がん予防、がん医療の充実、がんとの共生を3つの柱とし、さらにこれらを支える基盤の整備の1つとして、小学生、中学生、高校生を対象としたがん教育の実施を掲げている。



正林浩高先生(学校医)



塚本信幸先生(学校歯科医)



7月5日、大田区立馬込第二小学校において子どもたちにとって「身近なお医者さん」である学校医、学校歯科医が講師となる喫煙防止教育を実施しました。

公開授業のため受講生は、小学6年生と保護者の皆さん。授業は、一人ひとりが楽しく学べるようにクイズやロールプレイングを交えた参加型形式です。「第1問。タバコの煙の中には、体に悪いもの(有害物質)が何種類くらい入っているでしょうか?」に、子どもたちは「2種類くらいかな」、「200種類ってことはないよね」と答えに迷います。「正解は200種類!」に会場がどよめきました。タバコを長く吸っている人の口の中の写真と説明にまたまた驚きます。

受動喫煙については、副流煙は主流煙より高い濃度の有害物質が含まれていることにびっくり。子どもたちは、喫煙は家族も病気にすることや喫煙が体に及ぼす影響を学びました。授業終了後、教室で、タバコをすすめられたときの断り方を練習しました。

☎ 学務課保健給食係 TEL 5744-1431 FAX 5744-1536

家庭教育コラム ～我が子の悩みを理解する～

成蹊大学教授・臨床心理士 岩田 淳子

親として我が子の悩みを理解するのは意外と難しいものです。子どもの悩みの特徴や子どもとのコミュニケーションについて、ご家族のみなさまへお伝えしたいと思います。

子どもの悩みの特徴

子どもの悩みは、大人とは現れ方が少し異なります。まず、身体や行動面に現れやすい。身体的な異常がない頭痛や腹痛、不眠などの症状、不登校や非行も子どもの悩みの現れ方の一つです。また、自分に悩みがあることを自覚しにくい。子ども自身、自分が何に落ち込んだり、イラついたり、不安な気持ちになるのか、よくわかっていないのです。

環境への反応として悩みが生じることも少なくありません。妹弟の誕生や引越など家庭環境の変化、両親の不仲など家庭の問題、クラス替えや友人・先生との関係など学校環境の問題が容易に子どもの悩みと結びつきます。また、学業成績や運動能力、クラスや学校で選ばれる役割など、価値的・評価的眼差しを向けられやすいという特徴もあります。

特に、小学生後半からは「視線恐怖(周囲の人の目が気になる)」や「強迫症状(観念や行動のこだわり)」が比較的多く見られる時期です。即、病気というより、小学生は「劣等感」と向き合って克服する時期ですし、中学生は気持ちや考えがジェットコースターのように上がったりがつたり下がつたりめまぐるしい変化の時期であるために、そのような不調が現れることもあると考えられます。

子どもとのコミュニケーション

「子どもとの会話を大切に」「子どもの話に耳を傾けて」「子どものよいところに注目しよう」とよく言われます。現代はスマホで検索すれば、子どもとのコミュニケーションの方法がたくさん出てきます。しかし、どんな方法も、読者であるご家族のためだけに書かれているわけではありません。お子さんも、ご家族のみなさまもそれぞれ、固有の個性を持ち、ご家族の歴史と事情を持っています。ぜひ、ご家庭ごとにマッチしたコミュニケーションの方法を選んでください。そして、子どもとうまくコミュニケーションが取れないことにながっかりしないでください。困った時には、学校の先生やスクールカウンセラーに相談しましょう。学校以外にも相談できる機関があります。我が子のことを理解したい、大切にしたいと思う気持ちを持つ(そういう気持ちがない方も含めて)ご家族の方のサポーターがたくさんいることを知っててください。

ご家族の奮闘を応援しています。

☎ 教育総務課教育地域力推進担当 TEL 5744-1447 FAX 5744-1535



平成31年度 新入学児童生徒の 就学通知書を12月中旬にお送りします

大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもを見守り育てることを目標とし、地域に根ざした学校づくりを行うため、お住まいの住所によって学校を定める指定校制度を採用しています。

したがって、学校を自由に選択することはできませんが、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請をすることで指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

平成31年度新入学児童生徒の指定校変更申請の受付について、日程等の詳細は就学通知書をご覧ください。

指定校変更による受入れを制限する学校については、区のホームページでは12月上旬から、大田区報では12月11日号でお知らせします。

【ご注意ください】

- 学校施設の収容人数を超える場合は、指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は、抽選となります。
- 兄弟が指定校変更した後、弟妹が入学する年に変更先の学校の受入れが制限されて入学が許可できなくなり、兄弟姉妹が別々の学校になってしまう事例が増えています。このような事例もあることをお含みおきのうえ、慎重にご検討ください。
- 私立学校等を受験予定でも、区立校に入学するなら指定校以外の学校を希望する場合は、受験結果を待たず、受付期間中に指定校変更申請をしてください。
- 住所を偽る等、不正な手続きで就学した事実が判明した場合は、入学後であっても転校していただくこととなりますので、ご注意ください。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536



平成31年度使用 中学校「特別の教科 道徳」 教科書採択結果

来年度から中学校で「特別の教科 道徳」がスタートします。このことに伴い、教育委員会定例会において平成31年度使用中学校教科用図書について審議し、この度、採択されました。

採択の結果、大田区公立中学校において使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書は、以下のとおりとなりました。

発行者	書名
日本文教出版	中学道徳 あすを生きる



区民の皆様からは、469件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

小中学校連合行事(展示会の) 開催について

区内小中学校の「児童・生徒の豊かな情操を育む教育活動」の一環として、小中学校連合行事(展示会)を、下記の日程で開催します。児童・生徒一人一人が思いを込めて表現した作品を、是非ご鑑賞ください。

展示会名	展示期間
小学校連合図工作品展	平成30年10月18日(木)~24日(水)
中学校連合美術作品展	平成30年11月9日(金)~16日(金)
小学校連合書写展	平成31年1月11日(金)~17日(木)
中学校連合書写展	平成31年1月22日(火)~28日(月)
中学校連合技術・家庭作品展	平成31年1月30日(水)~2月5日(火)
小学校連合家庭科作品展	平成31年2月22日(金)~28日(木)

- ▼会場：池上会館1階展示ホール
- ▼開場時間：午前9時~午後5時
- *ただし、各最終日は終了時刻が早まる場合がございます。



問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



第28回全日本ドッジボール選手権 全国大会出場
道塚ドリムウイングス

表彰

2018年少林寺拳法東京都大会 (東京蒲田拳友会)

- 小学生3級の部 3位入賞
久保田 雄貴(北糀谷小 5年) -
中村 一翔(蒲田小 5年)
- 小学生7級の部 1位入賞
田中 賢介(蒲田小 2年) -
宮内 海帆(蒲田小 3年)



第32回全日本小学生女子ソフトボール大会 ベスト16
大田チェリーズ

教育委員会定例会の主な議題

- 平成30年第6回定例会 平成30年6月20日(水)開催
- 平成30年第7回定例会 平成30年7月17日(火)開催
・大田区立学校設置条例の一部を改正する条例原案の提出について
- 平成30年第8回定例会 平成30年8月3日(金)開催
・平成31年度使用中学校教科用図書採択について
・平成31年度使用小学校教科用図書採択について ほか2件

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①平成30年10月15日(月) ②平成30年11月22日(木) ③平成30年12月12日(水)
- 時間 ①午後3時30分から ②午後2時から ③午後3時から
- 場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- *予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。
- *手話通訳・要約筆記・その他特別な配慮が必要な方は開催日10日前までにご連絡ください。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535